

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2004/11/23 Vol. 43 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会/平成 16 年第 3 回定例会報告 (6)

いつもお世話になっております。印西市議会第 3 回定例会 (9 月議会) は、9 月 24 日 (金) までの会期にて行われ、閉会しました。今回は、9 月議会最後のご報告です。私からの一般質問、市執行部からの回答を中心にご報告していきたいと思っております。

9/9 (木曜日) に、代表質問に立ちました。

以下、市当局の回答です。

2. 国道 464 号線沿いの「資源循環型拠点施設」について

隣接地に予定されていた J A (西印旛農協) が進出を見合わせたとの話を聞いた。

当初の予定では当該用地は、本年度基本調査、測量をするとのことであったが、現在までの状況および今後について問う。

(回答 / 市長) 市におきましては、基本構想に「地域資源を活用したふれあい農業の確立」や「循環型社会の実現」を掲げ、基幹産業であります農業の振興を推進しているところであり、そのような中、農業の持続的発展と循環型社会の形成を目指し、産地直売センターを核とした資源循環型拠点施設の構想を検討して参りました。

これまでの進捗状況でございますが、平成 13 年度に、産地直売センター設置準備委員会を発足し、視察を中心に優良事例の研究から取り組んで参りました。

平成 14 年度は、同委員会により事業予定地の候補地について、検討を進め、この事業の目的が十分に達成でき、農産物の搬送や市民が集うための地理的条件などを勘案しまして、当該計画地を選定いたしました。平成 15 年度は、産地直売センター運営計画検討委員会を発足し、事業構想の骨子を検討すると共に当該計画地の用地取得を目指しました。この用地取得につきましては本年 3 月定例議会において議決をいただいたところでございます

平成 16 年度は、事業化に向け、市内全農家から産地直売センターの運営に関する意向調査を実施しまして、運営する組織に参加できる方を募集し、現在運営母体の検討や施設のレイアウト等の検討を行っております。また、都市計画法の開発行為の許可を受けるため、土地利用計画を含めた建築物の用途、雨水、汚水及び上水等について、関係機関と協議を行っている状況です。

今後の予定でございますが、本年度中に基本設計、運営形態の確立及び収支計画等の調査を行い、平成 17 年度に実施設計、平成 18 年度は工事に着手し、完成した施設の一部オープンを行い、平成 19 年度には施設全体のオープンを予定しております。

また、今後の計画の中で、多くの人たちに利用されるような魅力ある施設を目指し検討して参りたいと考えていますので、ご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

(ぐんじとしのりより 市民のみなさまへ / 解説)

この施設建設予定地は、国道 464 号線沿い ジョイフル本田 / 印西消防署牧の原分署西側の空地です。また、この用地取得の件ですが、最初に昨年 12 月議会で提案されたが執行部より、取り下げられ、3 月の議会で 3 時間半にわたって審議され、可決されたものです。

私はマーケティングも行っていない土地をただ安いからといって買う事を反対しました。

(開発は民間に任せるべきだとも申し上げました。)

印西市に再度 以下の内容で質問しました。(ほぼ質問原文のまま、記載します。)

- 運営母体の検討して何ですか？誰が運営するかも決めずに土地だけ取得したんですか？

(3月に)議案を審議するにあたって、土地利用イメージの提示を行っていますよね。議案を通すために何となく書いたのですか？確かに土地利用については、議案審議のなかでは「関係団体と協議をしていく」旨のとの回答もあったわけですが、そもそも、この施設はJAとの一体開発を念頭に始まったものではないのか。正直わけがわからないのですよ。関係団体=JAだとすればJAは北総鉄道をはさんで反対側に移動するとの話(ぐんじ注/国道464号線西行きトヨタ隣で工事が始まっています。)を聞いています。

- 今後のJAとの関係はどうなっていくのか？

この計画を進める上で、市はJAとはさまざまな面で連携して行くことを考えていることを3月の議案審議で議員に説明しました。市ではこの議案に対して「この施設においては、市場出荷を通じて培った情報の収集、分析能力などによりまして産直センターでの出荷の調整、販売傾向の分析等、中心的な役割が期待できるのではないかと考えています」と説明されています。そして、「体験農園での肥料を利用した循環型保全農業についての消費者へのPR、生産者への流通指導、普及をはかるうえで、JAの果す役割は大きいのではないか？」このようにも説明されている。道路の反対側に行ってしまうJAとの連携は市ではどのように考えるか。またどのような企業庁とJAの話し合いがあり、当初予定していた場所から反対側に移ったか市では経緯は承知しているか？知っておくべき事だと私は思いますが、市ではどのような認識か？ご回答下さい。

- 最後にお聞きしたいのは事業費についてです。この事業は総事業費9億で予定して、平成16年度の国庫補助事業として「経営構造改善推進事業」のなかの補助事業を得まして、計画を進めたいとの考えを示していました。現在、どうなっているのでしょうか？

(回答/市民経済部長(抜粋))JA西印旛が撤退した経緯については、県内JAの合併構想が浮上したことに起因していますが、JA西印旛としては市と一体しての整備を行って意向も聞いていたが、事業推進の担保ができない事から撤退したものです。市としては残念であると考えているが、連携の必要性は認識しているので、どのような協力体制ができるか協議中でございます。

国庫補助関係については経営構造対策事業の実施が必須条件になっておりますので、この事業による関係者の合意のもとでの地域の農業構造の改善や担い手の育成について等を内容とした経営構造確立構想の作成を進めておるところでございます。具体的な補助金の額については、工事費等に基づいて算出されるものであるため、今年度中に実施される企業設計に基づき工事内容及び工事等が明らかになった時点で算出したいと考えております。

(ぐんじとしのりの独り言)

「多くの人たちに利用されるような魅力ある施設を目指し、検討して参りたい。」言うのは簡単ですし、成功したいという思いは誰でも同じです。どこで収益構造をとっていくのか？事業として成功することは可能か？八千代、沼南の道の駅は「成功しているから、大丈夫だろう。印西だってうまくいくはず。隣にはジョイフル本田あるし。」市ではこのように考えています。

私は「絶対に間違っている。」と考えます。当初の予定から既に狂っているのではないか？

JAは一等地に移動し、市は取り残される。思いつきで事業を行うからこういうことになる。オープンしました。閑古鳥が鳴いています。誰が責任をとるのか？総事業費9億円。既に4億円を使っています。市長は私が最終責任を負うと議会で明言しましたが、できてからでは遅いのです。市民の皆様はどのように思いますか？

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。次回は12月議会にむけての紙面構成を行います。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

(前号 定例会報告(5) - 市民主導市政を問う(2) ~ 市民力とは何か 配布されていないとの声が届いています。ご連絡頂ければ再配布しますのでお気軽にご連絡下さい。) **ぐんじとしのり**